

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	免疫組織化学的バイオマーカーによる子宮間葉性腫瘍の予後予測法の技術事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター 研究室長 林 琢磨

1. SCORE での活動目的

JST 事業支援により、研究担当者らは、臨床研究で、他の種々のヒト子宮間葉性腫瘍と比較し、ヒト子宮平滑筋肉腫に特異的な発現因子を検討した。その結果、免疫組織学的バイオマーカーとして、ヒト子宮平滑筋肉腫に特的な LMP2, Cyclin B, Cyclin E, Caveolin1, Ki-67 の発現パターンが認められた。研究担当者らは、これら5つの因子の発現状況が、ヒト間葉性腫瘍に対する予後予測マーカー、つまり、ヒト子宮平滑筋肉腫と種々の子宮間葉性腫瘍との鑑別診断の分子バイオマーカーの可能性を報告した。研究担当者らは、SCORE の事業支援にて、この 5 つの因子を免疫組織化学バイオマーカーとして検査キットを試作して、ベンチャー設立又は企業との共同で同検査キットの作製・上市をめざす。

2. 総合所見

全国の医療機関による協力体制を構築し、臨床研究を着実に進めている点や、PMDA との面談等を通して事業化に向けた進展がある点を評価する。社会的意義の高い課題であり、患者の負担を確実に軽減する技術であるため、事業化を実現することに期待する。

以上